



ホープハウス、ゴスペル集会の後で (5月13日)

私の救いの証し

鶴見純福音教会 牧師 角和正毅



昭和二十八年の十月ごろ、私は横浜の鶴見という所に引越して来ました。私の十七歳高校二年生の秋のことでした。昭和二十年の三月の大空襲を逃れ東京から青森へと疎開し、八年過ぎし父の故郷に帰って来ました。しかし、時期が悪く高校への編入が出来ずにおりました。何処の学校も学習内容の違いから適応しなかつたのです。悶々とした日々を送っていました。

そんな時、妹が何時もながら、近くの商店に買い物に行き、帰りがけに宣教師(※)から一枚のチラシを路上で受け取って帰って来ました。近くで貰ったよと言って私に渡してくれました。それは、教会への誘いのトラクトでした。私には荒野の直中のオアシスへのお招きのようでした。私の心は飢え渴いていたのです。

教会からの案内を貰って早速その集まりに行きました。小さい祈禱会でした。そして、そこで受けた歓迎の愛は、この世には見ない美しく清く爽やかで、渴いた私の心に深く沁みこんできました。「ここに何かがある。」私は続けて来てみようと思いました。初めてイエス・キリストの福音を聞き、感動しました。神の子イエスの十字架の死と復活、罪の赦しが私の新しい人生の起点となったのです。

(※)このチラシを配布していた宣教師とは、スウェーデン・フリー・ミッション(SFM)の派遣された方々でマルガレッタ・クリサンダー、アストリッド・エリクソン、ソフィア・バーゲルドの諸師でした。

アルゼンチン宣教報告

アルゼンチン宣教師 在原 繁

宣教地ミシオネス州は、幾分涼しい風が吹いてきています。社会は、「麻薬問題」「児童誘拐」「強盗」「泥棒」事件の続発で、マスコミはこれに沸騰状態となり、市民もかなりヒステリックになりながら防犯対策に知恵とお金をかけるようになっていきます。山奥の町モンテカルロも麻薬流入事件が後を絶たず例外とは言えません。不況の風を受けた個人商店の閉鎖が増加傾向にあり、職を失った知人も目立ってきています。

しかし、世の中の不安な流れに反し、「福音の力」は聖徒と教会を通し今も拡大し続け、神の「聖徒たち」はより輝きを増していることをお伝えします。

1983年の第二次リバイバル後、アルゼンチン・プロテスタント諸教会は、「成長から成熟へ躍進」を遂げている教会と、成長を出来ずに「衰退もしくは消滅の危機」に瀕

した二種類の教会の姿でした。「成長できない」のではなく「成長することを止めてしまった」教会は問題でした。「幻」(ビジョン)を喪失し、「祈祷会」「宣教活動」「弟子化訓練」を怠って来ているため、霊的活力という熱気を失っています。教会というより「仲良し会のサロン」です。成長教会と衰退教会の分岐点は「人材育成」に対する情熱と「長期的計画」の有無にあります。人造りのための「熱い思い」「聖書教育」「祈り」などを怠った教会は、「教会の基礎体力の低下」が目につきます。

「人集めは或る程度達成できた。今から人造りと組織化に着手しよう」。こんなことを語りながら取り組んだ「信徒訓練」の第一弾は、「聖書基礎教育」と「実践訓練」に的を絞ることになりました。中でも、月に一度、第一週の水曜夜の特別礼拝が信徒訓練と育成のための「実践訓練時」です。「リーダーとしての能力と賜物を有するであろう人物を指名し、各月につき一名に『礼拝説教』『ショートメッセージ』や『証し』などを実践してもらう」というものです。

東日本大震災

TPKFでは「福島キリスト教子ども保養プロジェクト」と「FUKUSHIMAいのちの水」の2団体に震災支援金各5万円をささげさせて頂きました。2団体の活動を紹介させていただきます。

■福島キリスト教 子ども保養プロジェクト

単立ペンテコステ教会フェロシップ様

このたびは、福島に住む子供たちのために尊い献金をお寄せ下さり、感謝いたします。大人の20倍も放射能に対する感受性が強い子供たちには、より手厚い保護が必要であることはいまでもありません。より良いプログラムをできるだけ長期間提供し続けることができるよう、今後とも是非ご支援くださいますようお願い申し上げます。お母さんたちの声を聞く事が出来るよう、お祈り頂けたら幸いです。

福島キリスト教 子ども保養プロジェクト

代表 木田 恵嗣

お祈り、ご支援感謝いたします。

新スタッフの高野望、ジョイス夫妻と、木田友子の3人で8月1日～3日に予定しているキャンプの下見のため、新潟の五頭連峰少年自然の家に行ってきました。スタッフが変わりましたので、今まで関係を築いてきた福島のお母さんたちや子供たちと直にふれあい、その声を聞く機会を設けられたらと考えています。

福島キリスト教 子ども保養プロジェクト

新スタッフ 高野望、高野ジョイス、木田友子

■FUKUSHIMAいのちの水

私達は、2011年3月11日の東北大震災の3日後、東京の「災害支援援助隊アガペーCGN」の福島県支部として、支援活動を開始しました。当時は、衣類、食品、水などを、仙台、いわき、南相馬、飯館、福島、郡山へ配布していました。

被災者からの声

・いつもお世話になりありがとうございます。

震災後、不安だけしかない日々に光が差したように「いのちの水」さんのことを知りました。

今はお水や食物、場所など心配事を口にする気にしている人はほとんどいなく、違う不安で過ごすこともあります。仲間を求めていくことや、自分の気持ちに正直に生きていきたいと思うことが増えました。

いのちの水さんの場所は私にとってオアシスです。いつも感謝しています。(13歳、11歳、4歳の母)

・白河からはじめて来ました。

震災後ずーっとお水を買ひ続け、食品にも気をくばり、買うこともだんだんままならず思い切って以前からFBで見たいのちの水さんに電話で詳細を聞きまして、県南のものでも利用できると知り感動してしまいました。本当に助かりました。これで、また安全なお水で過ごせます。頼ってしまい申し訳ありませんが心からお礼申し上げます。(7歳、4歳の母)

【支援金報告 2017年4月】

FUKUSHIMAいのちの水……5万円、

ふくしまHOPEプロジェクト……5万円、援助済。

支援金残高 1,468,085円(内、緊急準備金100万円)

この紙面では、TPKF 諸教会のユニークな活動を紹介することによって、主のチャレンジに応え、共に前進することを目的としています。

若枝ユースミニストリー

木幡キリスト福音教会 大同初穂

「若枝ユースミニストリー」は、キリスト福音教会 (KFK) の中学生以上のユースのためのミニストリーで主に京都・滋賀で活動しています。月に1回ユースリーダーでミーティングをもち、企画・運営をしています。毎年5月の若枝ユースキャンプに加えて、数年前からは若枝ライブ、ワンデイキャンプ (アルファコース) などアウトリーチの働きも開かれ、活動の幅が広がりつつあります。特に若者向けの伝道集会として企画された「若枝ライブ」は、これまでに亀岡ベタニヤ教会、木幡キリスト福音教会で計7回開催され、毎回たくさんのノンクリスチャンの若者が来会し、良き交わりと証の時を持つことができました。ユースが教会を越えて互いに協力し合い、教会の兄弟姉妹と共に伝道の働きを進めることができるのは大きな喜びです。また若枝の働きを通してユースが信仰の友に出会い、霊的成長の助けになることを願っています。

あかし

木幡キリスト福音教会では、5月27日に第4回目となる若枝ライブが行われました。私の所属する「同志社ゴスペルクワイアーJoyful-Joyful」(以後J・J)も、出演者として一緒にライブを盛り上げてくれました。J・Jはほとんどがノンクリスチャンですが、普段なかなか教会に来ることがない子も、依頼となると違和感なく喜んで来てくれます。

ライブのどの瞬間にも神様の愛があふれ流れていて、J・Jのメンバーにライブの感想を聞くと、メッセージだけではなく、教会の人との交わりや、同世代のクリスチャンのあかし、若枝ユースバンドの賛美する姿や歌詞の内容からも、一人一人何かを感じ取ってくれているようでした。

後日、ライブがきっかけで個人的にさらに深くあかしをする機会も与えられ、自分でも驚くほどストレートにイエス様の愛と希望を語ることができ本当に感謝でした。今回に限らず、ライブに来てくれた友達がまた他の教会行事や礼拝に来てくれたり、普段の会話の中で自然と証をする機会も増えたりと、この働きが用いられていることを折にふれ感じています。すべてを益としてくださる神様に心から感謝します!

提 案

若枝は「ひとつの教会の働きではない」というのが大きな特徴です。ユースの少ない教会での若者向けの伝道イベントでも、ともに集まり協力することで可能性も大いに広がると思います。若枝に声を掛けて頂いて、一緒にイベントや集会を企画することも可能です。また、もし教会員と繋がりのある音楽グループなどがあれば、ノンクリスチャンであってもゲストとして教会に招くことで伝道の第一歩になることは、若枝ライブを通して実感しました。

木幡キリスト福音教会での若枝ライブ



亀岡ベタニヤ教会での若枝ライブ



あかし

ユースキャンプに参加して

岐阜純福音教会 I・A

このキャンプを通して、神様はもうお腹いっぱいになるくらい沢山の恵みを私に注いでくださいました。私は昔から自分のことがどうしても好きになれなかったのですが、メインゲストの野田先生の証やお祈りの中で、神様はそんな私の心を温かく包んでくださったのです。そして、自分の基準で自分の価値を決めつけてしまっていること、私の価値や人生は全て神様の御手の中にあるということ、色んな先生方のメッセージを通して教えてくださいました。とはいえ、自分の弱さに簡単には打ち勝てず、思わず人と比べて失望してしまうことが今でもあります。しかし、神様はきっと私のことを見捨てずに、いつも忍耐強く愛してください、苦しい時も、「彼に信頼する者は失望させられることがない。」と励ましてくださるのかなと思います。周りの状況に左右されず、神様に希望をおき、神様の愛を日々喜べるような人になりたいです。

「わたしは主。あなたをいやす者である」出エジプト記15：26

町田純福音教会 廣瀬公二



私は、2012年6月スキルス胃癌（ステージ3B）で胃と脾臓を全摘しました。この癌は発見時手術可能3割、術後2年後再発率7割。手術前に与えられた御言はその年の教会年間聖句「主は私にかかわるすべてのことを、成し遂げてくださいます」（詩138：8）でした。この御言により、手術に主が全面的に係われ、再発はないと確信しましたが、医師に従い抗癌剤療法を2年半受けました。副作用と食物の消化時の腹痛と、20kgの体重減少による体力低下は加齢もあり予想以上でした。この辛い2年半の中で与えられた御言が「それはわざわざではなく、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」（エレミヤ29：11）でした。抗癌剤終了後の検査で再発なしが確認された時、ただただ感謝で教会で証しました。それから定期的な血液検査とCT・MRIの検査結果に一喜一憂しながら、術後5年再発なければ完治のゴールを、6月11日に迎えました。現在は、胃がなく食物が一気に小腸から吸収され血糖値が急激な上降下を起こす、ダンピング症状（全身倦怠感、めまい、冷汗、動悸、腹痛等）が、食後たびたびありますが、主が私になしてくださった御業を忘れるなどの警鐘と受け止めています。

5年間私を覚え、お祈りくださった諸教会の皆様から心から感謝とお礼を申し上げます。

癒しのあかし

水口キリスト福音教会 西條 薫



私は大きな病気で四度、癒しを体験しました。

最初は私が未信者のとき、30年以上前の婚約中の頃、大きな病院で癌の疑いを宣告され途方にくれました。今の妻である婚約者に相談し、二人だけの秘密にして結婚、そのとき「神様どうぞ助けてください、癌でないように、癒されるように」と必死に祈りました。半年後症状がなくなり完全に癒されました。これが最初の癒しの体験であり、イエス様に

導かれたきっかけとなりました。

二度目は虚血性心疾患と診断され、この時も大きな発作もなく診断から20年後には全くの正常な状態に癒されました。

三度目は最近、右肩の腱板断裂になり、痛みが消えない場合には手術が必要とのことでしたが、お祈りにより痛みが全くなり、切れた腱を残った腱が補って日常生活には支障のない状態まで回復することができました。

四度目は突発性難聴。耳の神経がウイルスに侵され左耳の聴力が半減し、高い音が全く聴こえなくなり投薬での治療を始めましたが、完全に回復する人は2割ぐらいで後遺症が残ると医師に言われました。ある牧師にイエスの御名でお祈りしてもらったところ、後遺症もなく完全に癒されました。主は真実な方で病気がちな私をいつも癒してください、本当に感謝です。「…病人に手を置けば病人はいやされます。」（マルコ16:18b）

■「Return」社会人ユースフェローシップ 〈イースト〉

4月29日に社会人ユースフェローシップが町田純福音教会を会場に行われました。今回のテーマは『Return』という事で自分の信仰を振り返り、初めの愛(救い)を思い出し土台を確立するというものでした。前半は講師に御殿場純福音キリスト教会の北村聖慈師を迎えてマタイ2章1～12節からメッセージをしていただきました。この箇所は博士たちがイエス様に黄金・乳香・没薬を捧げ神様を礼拝した箇所です。この箇所から私たちが日々捧げている礼拝の姿勢について語られました。礼拝とは宝の箱を開けてその中身を捧げるということであり、私たちが神様に捧げている宝は何かと問われました。仕事や時間やお金といった社会人ならではの葛藤が生まれる中、もう一度自分の救いの原点を思い起こし、心から神様を礼拝することを改めて学ばされたメッセージでした。後半は参加者全員で手巻き寿司を作り一人一人の証を聞き、良い交わりの時となりました。

(横須賀クリスチャンセンター 山田愛也)

■ゴスペルミュージックウィーク ホープハウス 〈FCMF〉

ゴールデンウィークの終わった日から約一週間、ここ北陸の都市金沢では、ゴスペルミュージックウィークというテーマで日本のゴスペル界を牽引してきた、小坂忠さん、岩渕まことさん、他韓国からナムエンさん、イ・ユンファさんなどのシンガーがたくさん来てくださり、それぞれの教会や、音楽堂にてほぼ毎日といって良いくらい、どこかしこでイベントがありました。

5月13日(土)、金沢市旭町にありますホープハウスにイ・ユンファさんがお越しください、ゴスペルを堪能させていただきました。イ・ユンファさんの独特の歌声で、会場の人々は魅了され、みんなが心から聞いておりました。中盤頃、会場を見渡すともうたくさんの人々で埋まっていました。初めての方々も当然おりましたし、クリスチャンの方々も、ゴスペルを通してみんなが同じ一体感を共有できました。ゴスペルを通じてこの福音が多くの方々に浸透し、また、楽しみながら心の糧となっている事を感じ、主に感謝を捧げました。

(菅原純次)

■放送伝道セミナー

〈キリスト福音〉

2017年4月29日(土)日本フィンランド学校でキリスト福音教会放送伝道セミナーが行われました。当日は若枝ユースによる賛美と祈りから始まりました。ユースの熱い信仰にとっても励まされました。次に放送伝道を支える会総会が行われました。放送伝道は多くの兄弟姉妹の祈りとささげものによって支えられています。支える会の働きが息長く続けられていることは、とても素晴らしいことです。昼食をはさみ、午後からセミナーが行われました。講師は須磨自由キリスト教会牧師の平川久先生でした。平川先生は以前にテレビに関わるお仕事をされていて、現役時代のエピソードをととても興味深くお話しくさしました。視聴者のことを第一に考えて番組作りをした経験から、リスナーのためのメディア伝道の大切さについて教えていただきました。恵みをいっぱいを受けた一日になりました。

(置田信也)

社会人ユースフェローシップ(35歳以下0歳層の若い)

Return

2017/4/29 町田純福音教会
(東京都町田市町1-9-21)

10:15 受付(参加費:1,500円)
10:30 集会
(講師:北村聖慈先生)
*席上献金があります。

12:00 ランチ(手巻き寿司)
14:00 カフェタイム
(証しを聞いて交わりましょう)
16:00 終了予定

メールにてお申し込みください。
しめきり:4/23(日)
→tpkf_e_youth@yahoo.co.jp
標題:「社会人ユース参加申込」
本文:名前・性別・年齢・教会名・連絡先
事務局:横須賀クリスチャンセンター
046-851-0327



ゴスペルシンガー イ・ユンファさん



キリスト福音教会放送伝道セミナー

KFK「長老・執事訓練コース」CD

下記のコースの講義録音CDを販売しています。
3部セット 送料共1,000円です。

テーマ「教会運営について」

メンバーが教会に定着し、忠実に活動を続けるためにはどうすればよいか？
クリスチャンの信仰生活の基本姿勢をもう一度確認しよう！

日時 2017年7月17日(月・海の日)

講師 中見 透師

(御殿場純福音キリスト教会牧師・TPKF 議長)

CD申込先 朝子孝一 綾部キリスト福音教会
(Tel&Fax 0773-42-5359) ko_asako@ybb.ne.jp

大和あがないの丘キリスト教会 場所：神奈川県大和市渋谷 2-1-4

カナダからの宣教師トム・ハーランド師により、荒井恒男牧師夫婦が横浜市戸塚の戸塚ベテル教会に導かれ、救われ、子供4人を連れて1999年に献身しました。その後、戸塚ベテル教会を出て、現在の地で開拓伝道をはじめました。お家の教会でアットホームな教会です。神様の濃い臨在を求め、その臨在の中で神様の強め、神様の愛と安らぎ、ときには慰めが満ち、神様への祈り、賛美が満ちる教会を求めています。



甲賀キリスト福音教会 場所：滋賀県甲賀市甲賀町相模 179-2



甲賀キリスト福音教会は、役員が運営（牧会）し、礼拝のメッセージは長老もしますが、他教会の先生にお世話になっています。水曜日の聖書の学びも同じやり方で、講師には松本先生にお世話になっています。

6月から月に一度、礼拝後、外の庭で「チャペルカフェ」と称して教会に来ておられない人々とコーヒー（共通語）で交わる時間を設けています。始めたばかりですが、αコースも視野に入れ、参加しやすさを追求しています。まずは、共にいる時間を大切にすることから始めたいと考えています。神のみ心がこの地でも行われますように、私たちが用いられますように。

教会情報

○南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会

岡田玉伝道師 5月12日召天。82歳

○岐阜純福音教会

開拓宣教師アストリ・K・ボルゲ夫人、6月2日召天。96歳

○大和あがないの丘キリスト教会

荒井恵子師が3月牧師に就任

○金沢フィラデルフィヤ教会

主任牧師が宮崎健男師から宮崎一実師に代わり、6月正式に法人手続きが完了

◎ペンテコステ誌125号の表紙写真の説明に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤)FCMF コース春キャンプ ➡ (正) コース春キャンプ (岐阜純福音教会にて)

書籍紹介 「キリスト教の精髓」



C.S. ルイス

「キリスト教の精髓」は、キリスト教の弁証学の本として最も優れた本です。第一部は「正と不正」が宇宙の意味を解明する鍵であって、人間は、自然の法則を知っても、これを破っていると述べます。第二部は、キリストはわれわれの罪を洗い流して下さって、死ぬことによって、死そのものを無力化して、悔改めることと、キリストによらなければだれ一人救われる者はないと述べていま

す。第三部は、道徳、キリスト教の結婚観、赦し、また、人の究極的な悪は傲慢であって、傲慢は本性そのもののゆえに競争的であることだと述べています。その後、キリスト教的愛は、意志をもって神を愛することと、神の愛は、われわれの罪や無関心によってうんざりさせられないであり、希望は、来世、つまり天国を求めることであり、信仰は、道徳的な実践に最善を尽くしても自分ではできないことを認めて神に委ねることであると述べています。第四部では、三位一体の神、また、クリスチャンの成熟について述べています。

(美濃グレースチャーチ 辛海雄)

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会 神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松バタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡バタニヤ教会
京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会
大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

